

第9回 海岸勉強会メモ

日時:平成20年9月9日(火)

19:00~21:00

会場:住吉公民館

[参加者]

- ・一般の方: 33名
- ・行政担当者等: 22名 (宮崎県:河川課・港湾課・自然環境課・宮崎土木事務所・中部港湾事務所、国交省:宮崎港湾空港整備事務所・宮崎河川国道事務所、宮崎市:土木課)

【質疑応答】

植生について

- ◇植物があれば砂が付く(戻る)のか。それとも砂があるところに植生を付けることで侵食を防ぎ安定するのか。
→後者。(発表者)
- ◇現地では6~7mの浜崖があるところもある。それらは復元可能なのか。
→可能と考える。(発表者)
- ◇海岸植物と陸生植物とは生態が異なる。住吉海岸では多くの植物が見られる。

保安林について

- ◇台風で浜崖が生じても波がおさまれば砂は戻ってくるのではないかと。すぐ護岸を作るから砂が戻ってこないのではと思う。ビーチサイクルを測定しているのか。
→海浜断面地形の変化までは把握できないが、固定カメラによる汀線(水際線)の観測は行っており、汀線位置の変動については高波浪による短期的な変動、季節的な変動は観測している。
- ◇宮崎海岸は侵食が進行中で海浜土砂量が減少しており、現状で自然に任せて砂浜が戻るというのは厳しいのではないかと。
- ◇保安林全体の歴史を調べてほしい。佐土原藩の地図も参考にしてほしい。
- ◇保安林維持のために農薬散布をしており、リスクも生じている。
- ◇保安林は松が良いというが、別の海岸では豊かな照葉樹林が海岸沿いにある場合もあり、農薬散布もしていない。
→広葉樹を否定するものではない。まずは潮に強い松を植えている。
- ◇自ら浜の簡易測量をはじめた。過去の測量データがあれば貸して頂きたい。

【次回以降の予定等】

- ・第10回勉強会は、平成20年10月12日(日) 現地にて 9:00~
- ・今後のテーマとして、①住吉海岸一帯の開拓の歴史 ②サーファー、釣り人、漁業者など利用者の声を聞く について適任者を紹介してほしい。
- ・委員会で予定されている討議事項を意識した勉強会として進めていきたい。